

薬剤経済学セミナー

参加者の声 ～参加者アンケートより～

■ 薬剤経済評価の基礎

- 日本での HTA 導入の歴史の説明がわかりやすかった。
- 薬剤問わず費用対効果は考えていくべきであり、保健医療については薬剤ごとの表面的な問題に囚われず、保険制度全体の問題として捉えていくべきだと感じました。
- 自己紹介から参加者が何を知りたいかにフォーカスされていて、とても良い授業でした。

■ 【演習】 QoL 値の測定方法

- 詳しく説明してくださり、楽しく取り組み、理解も深まりました。
- 同じ状態について複数の指標で効用値を測定し、その比較もできたため面白かった。
- 実際に計算の演習をやってみたことで、より理解しやすくなりました。

■ QoL の測定

- 様々な図り方とその長所・短所がよくわかり、有意義でした。
- 海外の閾値の設定の歴史についての説明が大変おもしろかった。発展途上国の閾値の話も聞いたかった。

■ モデルを使った経済評価

- 詳しい説明があり、途中経過でも助言いただき、楽しく取り組み、理解も深まりました。
- 興味のある内容だったので、感度分析や発展的モデルの話をもう少し詳しく聞きたかった。

■ コストの算出方法と課題

- 基本的な費用の話聞くことができよかった。間接費用の話をもう少し詳しく聞きたかった。
- 各方面からの立場での説明をいただき、また実例を交えてくださったので、興味深い話が聞けて良かったです。

■ 費用対効果評価の政策応用(国内)

- リアルな話と先生のお考えを聞くことができ、大変おもしろかった。
- 政策応用に向けて先生が感じているもどかしさが伝わってきました。

■ 費用対効果評価の政策応用(諸外国)

- PAS の内容がわかったので助かりました。
- 保険制度の違いはあれど、アプレイザルが大切だと感じました。
- 諸外国と比べて、日本の制度がどれほど不確実性を考慮できていないか理解できました。

■ 経済評価論文の読み方

- 論文の批判的吟味ができてよかった。世の中にある費用効果分析の論文を批判的吟味するチェックリストが有用であった。
- 講義で出た論文の例が面白かったです。